

小松の児童合唱団

小松市の児童合唱団「コマツ HAPPY MELODY」は5日、東北復興事業を行う「ワンアース」(茨城県龍ヶ崎市)から、宇宙を旅したヒマワリの子孫に当たる種60粒を受け取った。合唱団が福島市でコンサートを開き、同市に寄付した義援金の返礼として贈られた。

小松市公会堂で贈呈式が行われ、ワンアースの長谷川洋一代表理事が合唱団メンバーの佐々木惇緒さん(苗代小5年)と松

宇宙ヒマワリの種受け取る

田知桜さん(同)に種を手渡した。2人は「大切に育てたい」



ヒマワリの種を受け取るメンバー
小松市公会堂

と感謝を述べた。

合唱団は昨年3月に福島市で復興祈念コンサートを開いた。

今年3月には小松市内でミニコンサートを開き、福島市に中継して歌声を届けた。同月に指導者の太田英一さんが福島市を訪れ、義援金を寄付した。

寄贈を受けた60粒は、東日本大震災10年の支援事業の一環で昨年6月にロケットで打ち上げられ、国際宇宙ステーション(ISS)に37日間滞在したヒマワリの種を、福島県大熊町の住民が育てた花から採取した種子となる。